

# とばし教育委員会だより

2018.9.1 第14号



ふるさとの食材について学び、味わう菅島小学校の児童

## 「鳥羽が好き ふるさと給食」に舌鼓

子どもたちに自然豊かな鳥羽を再認識してもらい、郷土愛を育むことを目的に、市内の小・中学校、幼稚園で6月14日、地元産の旬の食材を使った「鳥羽が好き ふるさと給食」を実施しました。1学期のメニューは加茂牛を使ったカレーと鳥羽産のヒジキのサラダで、菅島小学校でも地元産の旬の食材について学ぶとともに舌鼓を打ちました。ふるさと給食は学期毎に実施し、2学期は10月、3学期は1月に実施する予定です。

平成30年度

# 鳥羽市英語教育の 取組を紹介します



平成32年度の新学習指導要領実施に向け、鳥羽市では「鳥羽市英語教育推進計画」を策定し、小中学校の英語教育の充実・強化を図るための取組を行っています。平成32年度からは小学校3・4年生で「外国語活動」の授業が週1時間、5・6年生で「外国語」の授業が週2時間行われます。新学習指導要領実施までの移行期間1年目である今年度の小中学校の子どもたちと教員対象の取組を紹介します。

## ● ALT派遣

市内小学校・中学校にALT（外国人指導助手）を派遣し、ネイティブイングリッシュに触れる・外国の文化を学ぶ機会を作っています。日本人教員とともに、英語を使ったコミュニケーション活動中心の授業を行っています。また、幼稚園にも派遣し、早期から英語に触れる機会を作っています。

## ● 英語モデルスクール

加茂小学校をモデルスクールとして、小中学校教員向けの研修を行っています。研修では、小学校での英語の授業をこれからどのように行っていけばいいのか、1年間を通して外国人講師などから学びます。積極的に英語を使える子どもの育成のための授業を組み立てていく手法を学んでいます。

## ● イングリッシュキャンプ

今年度英語モデルスクールである加茂小学校6年生を対象に、1日英語漬けのキャンプが行われました。ALT（外国人英語指導助手）と楽しく英語でコミュニケーション活動を行ったり、鳥羽市の魅力について一人ひとりが英語でプレゼンテーションを行ったりしました。

## ● 英語検定チャレンジ

鳥羽市の将来を担う子どもたちの英語によるコミュニケーション力の向上を目指し、英語検定チャレンジを行います。小学6年生が「英検Jrブロンズ」を、中学2年生全員と1年生希望者が「英語検定」を受検し、「英語が聞ける・わかる」体験を通して学ぶ意欲の向上につなげていきたいと考えています。



海女さんすごいぜ!!  
地球塾公開講座を開催

第17期人材育成講座「地球塾」の第3回公開講座を開催します。(事前申込不要、入場無料)  
とき：9月8日(土) 13:30～15:30 会場：鳥羽市立海の博物館



やまもと みちこ  
**山本 道子さん**  
幸丘在住。放課後子ども教室のコーディネーターを務める。鳥羽市の子育て中のお母さんたちによるボランティアサークル「子育て応援0・1・2・3サークル」の代表も務め、お菓子作りや、工作・音楽遊びなどのイベントを開催。

「かもっく」「あらっく」へあそびにきてね!

ボランティアをしていた関係でたまたま放課後子どもプランの会議に出席し、内容がよくわからないまま「やります」と、「放課後子ども教室」のコーディネーターを引き受けて10年がたちました。

子どもの居場所づくりという目的は「放課後児童クラブ」と一緒ですが、放課後子ども教室は、基本無料（材料費は実費）で、宿題はせず全学年が対象となっています。平成20年度に加茂小学校児童向けの「かもっく」、1年半後には安楽島小学校児童向けの「あらっく」を始め、登録人数は両校全校児童の半数近くになりました。

学校が早く終わる水曜日に集まり、春には1年生に学校周辺の良いところ、危ないところを覚えてもらえるように、町内会や民生委員、防災ボランティアや社会福祉協議会の方々とタウンウォッチングを行い、地域にも活動PRを行っています。



お菓子作りも楽しんでいます

また、まちなみ水族館の「海の生き物作り」やボランティアさんの手作りおもちゃで遊ぶ「昔の遊び」など、地域や文化を知り、生きていく力をつけてもらえるように様々な内容を計画しています。学校の先生方はチラシ配りなどを、サポーターさんは子どもたちに細やかな気配りを、高学年が低学年の児童にあれこれ教えてくれたりと、たくさんの方の協力で成り立っています。これからもみなさんの意見を取り入れ、たくさん楽しい遊びを用意していきます。町で見かけたらぜひお声がけください！

みんなで  
チャレンジ!  
とばっこ  
検定

「とばっこ探偵団」を作成しました

子どもたちの郷土学習の推進のため鳥羽の代表的な魅力である「海女」「鳥羽城と九鬼嘉隆」「御木本幸吉と真珠」などを紹介した冊子「鳥羽歴史学習本」「とばっこ探偵団―海からの挑戦状―」を作成しました。



今年度から各小学校4・5・6年生へ配布し、授業で役立てたり、郷土学習出前講座の教材として活用したりしています。（配布の時期は各小学校によって異なります）

「とばっこ探偵団」ってどんな内容?

構成は次のようになっていきます。

- 第1章 海女
- 第2章 鳥羽城と九鬼嘉隆
- 第3章 御木本幸吉と真珠
- 第4章 鳥羽のゆかりの人物
- 第5章 鳥羽の祭り
- 第6章 鳥羽の昔と今

児童への配布用の教材のため一般配布や販売は行っておりませんが、内容をご覧いただきたい場合は、市立図書館で貸出図書として扱っているほか、市ホームページでも冊子の内容を掲載しています。

新たな取り組みとして、「とばっこ探偵団」を教材として活用し、地域学習の検定「とばっこ検定」を実施します。今年度は小学4年生を対象に実施し、次年度以降は実施学年を5、6年生と段階的に拡大していく予定です。

また、検定の出題分野を各学年ごとに変えて段階的かつ継続的に鳥羽の子どもたちに鳥羽の歴史文化や魅力について学習する予定です。現在の予定では、4年生に「御木本幸吉と真珠」、5年生に「海女」、6年生に「鳥羽城と九鬼嘉隆」についてそれぞれの学年で検定を行う予定です。学校の授業をはじめ市内の博物館や旧跡を訪れるなど現地での学習も併せて実施することも検討しています。

とばっこ検定を通じて地域を知ることができ、かけに鳥羽のまちを好きになって、将来地域で活躍する人材になってくれることを期待しています。



## きらり輝け！ 高校生が伝える鳥羽の魅力

三重県立鳥羽高等学校  
地域研究サークル「とばっこくらぶ」

鳥羽高校は「地域に学び、地域を学ぶ」を目標に、高校生が地域の皆様と交流しながら、地域について学ぶ活動を積極的に取り組んでいます。

その代表的な取り組みとして、平成27年に地域研究サークル「とばっこくらぶ」が発足しました。フィールドワークなどを通じて高校生がまちに出て、直接地域の魅力や人に触れ、学んだことや感じたことを高校生ならではの視点で多くの方々に伝えていきます。

その一環として、全国の高校生自らが作り上げたオリジナルの観光プランを競い合う全国高等学校観光選手権大会（通称「観光甲子園」）にも挑戦しています。昨年度は、海女文化に触れ、心も体もリフレッシュする女子旅をテーマに観光プランを作成し、書類審査で選定された上位8校が観光プランを発表する決勝大会に出場しました。決勝大会では、全国の舞台上に隠すことなく、海女役や観光客役などに扮し、寸劇形式で企画内容や鳥羽の魅力を発信し、見事に銅賞を受賞しました。

今年度の観光甲子園では、180プラン中13位となり、惜しくも決勝大会出場はなりませんでしたが、審査委員長特別賞を受賞し、観光甲子園の上位常連校として活躍しています。



観光甲子園決勝大会での発表の様子

## 答志小学校、伝統の「鼓笛隊」

答志小学校の取り組み

答志小学校で、半世紀以上にわたって取り組んでいるものに「鼓笛隊」があります。地域の高齢の方に聞いても「わしらの子どもの時にはすであつた」という伝統的で、大切にしてきた活動です。児童数の多かつた時には、まな板のような木にタオルを巻いて太鼓代わりに練習し、競い合っていたとも聞きました。

現在、児童数は60名をぎりましたが、その時の「精神」を引き継ぎ、4年生〜6年生はほぼ一年を通して、練習に（低学年は歌隊）取り組んでいます。運動会以外に、6月の「稚魚稚貝愛護パレード」では、鳥羽磯部漁業協同組合の答志支所、和具浦支所と連携し、海の資源を大切に、それを未来の子、孫へ残すことを、11月の「防火パレード」では、密集した家屋が多いため、地元消防団の方々と連携して、火の取り扱いへの注意喚起を、地域各所にパレード演奏し訴えます。

今年度の「市小学校音楽祭」には、全校児童で参加し、伝統の「鼓笛隊」を披露する予定です。



## 文化財紹介 贄遺跡出土の 帯金具と和同開珎

昭和47年に安楽島町のリゾートホテル建設に先立って、贄（にえ）遺跡の発掘調査が行われました。その結果、縄文時代から平安時代にかけての遺跡であることがわかり、奈良時代のお金であった「和同開珎（わどうかいちん）」や役人が身に付けていたベルトの青銅製の金具21点が出土し、発見当時は大きな話題となりました。

出土から40年以上経過し、錆（さび）が進行していたことから、昨年度、専門業者に委託し、クリーニングと防錆のコーティングを行い、きれいな姿になり、鳥羽歴史文化ガイドセンターで展示を行いました。



贄遺跡から出土した帯金具

ご意見ご要望をお寄せ下さい